

令和 8 年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立 大谷田小学校 校長 八代 麻子

1 学校教育目標

○よく考える子 ○心豊かな子 ○たくましい子

2 学校図書館3つの役割について

重点取組 (◎)	(◎) 読書センター	() 学習センター	() 情報センター
現状の課題	・興味関心の偏りにより、家庭から本を持参する児童が多い。 ・読解力の差が大きく、読書への関心が薄い児童が多い。	・授業活用が少ない。 ・「図書館は本を読む場所」という固定観念が児童にあり、学習を目的とする来館が少ない。	・0～8類の蔵書が少なく、調べ学習を行う際に不足してしまう。 ・調べ学習の仕方がわからない。
今年度の目標	◎・読書の幅を広げる。 ・読解力に応じ、段階的に書籍を選べるようにする。	・週の使用予定表を作成し、円滑に図書館を利用できるようにする。 ・図書館で学習する機会を設け、自主的に活用する意欲を伸ばす。	・蔵書を見直し、0～8類の割合を考慮し選書・廃棄を行う。 ・「調べ学習」の研修会を実施する。
重点取組	◎読書の幅を広げる活動を取り入れる。 ・本の紹介や面出し等、児童が関心をもつための取り組みを行う。	・使用予定表を職員室に設置し、全教職員が確認できるようにする。 ・放課後に図書館開放を実施する。	・学校図書館の資料を用いた「調べ学習」を行う。
成果目標 (達成基準)	・児童1人あたりの年間貸出冊数 45冊 ・0～8分類の貸出割合 8%増	・放課後図書館開放 週4日間 ・年2回以上、図書館を学習センターとして利用する。(全学級)	・学校図書館の資料を用いた調べ学習を年2回以上行う。(全学級)
達成状況 (年度末に記載)			

3 図書館運営計画

	読書センター	学習センター	情報センター
日常的な取り組み	・読書時間の確保(週1回朝読書) ・授業活用案の周知	・図書館利用が円滑に行われるようにするための使用表を作成 ・放課後図書館開放(週4日)	・選書・廃棄の計画
主な行事の取り組み (図書委員会含む)	・読書目標達成者への表彰 ・大谷田まつりでのパネルシアター ・図書委員会への指導	・図書館での学習規律や、放課後開放の利用方法を児童へ周知 ・保護者会等での児童待機所	・オリエンテーション ・調べる学習コンクール参加
環境整備の取り組み	・展示や掲示の計画 ・毎月、単元に応じた書籍を学年へ貸し出し、廊下に配置	・授業展開できるようにするための整備計画(机椅子・モニター)	・机椅子配置などの再検討 ・教員へ不足している本のアンケートを実施
司書・外部との連携	・図書館支援員との報連相 ・年間計画の進捗状況の把握	・図書館支援員との報連相 ・放課後開放の日程や利用法帆について保護者へ周知	・選書・廃棄の実施

実践の評価(年度末に記載)

4 学校図書館を使った「調べる学習」計画（国語及び他教科）

学年・専科	内容（教科「単元名」）	結果	内容（教科「単元名」）	結果
1年	国語「じどう車くらべ」		国語「どうぶつの赤ちゃん」	
2年	生活「つくってためして」		国語「おもちゃの作り方を説明しよう」「ロボット」	
3年	国語「図書館たんていだん」		国語「おすすめの本を紹介しよう」	
4年	国語「工芸品のみりよくを伝えよう」		社会・総合「自然災害から人々を守る」	
5年	総合「私たちの米作り」		国語「目的に応じて引用するとき」 「みんなが使いやすいデザイン」	
6年	国語「公共図書館を活用しよう」		国語「筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう」	
追記および実践の評価（年度末に記載）				

5 学校図書館全体に関する自校の取り組みの評価（年度末に記載）

※各校作成の令和8年度「学校図書館年間計画」の添付をお願いします。